

出題分析		
試験時間 60分	配点 150点	大問数 4題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
概 評 ——出題の特徴・特記事項		
<p>〔Ⅰ〕は原始～現代の雑題, 〔Ⅱ〕はレコードの歴史に関するリード文より正誤選択問題, 〔Ⅲ〕はA『奥州後三年記』, B『玉葉』, C「日本永代蔵」からの史料問題, 〔Ⅳ〕は近現代の日米関係に関するリード文より正誤選択問題がそれぞれ出題された。</p> <p>細かい知識を問う問題も一部で見られ, 一昨年度〔Ⅲ〕Bで出題されたような視覚史料の読解が今年度も〔Ⅲ〕Cで出題された。日ごろの学習の積み重ねが如実に反映されるような問題構成であった。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
〔Ⅰ〕	原始～現代の歴史的 事象の正誤判定	1. b : 神津島産は黒曜石。ヒスイは新潟県姫川流域で産出され, 東日本に分布した。3. b : 唐招提寺ではなく東大寺。4. a : 鎮守府は多賀城から胆沢城に移された。5. a : 半済令は荘園からの年貢収入の半分を徴発する権利を守護に与えるもの。b : 足利尊氏ではなく足利義満。6. a : 場所請負制ではなく商場知行制。7. a : ロシアではなくオランダ。b : 江藤新平は使節団には加わっていない。8. a : 穂積八束は憲法草案起草には加わっていない。b : 『万朝報』はのちに主戦論に転じた。9. b : 斎藤実内閣ではなく岡田啓介内閣。	標準
〔Ⅱ〕	レコードの歴史に関する正誤選択問題	1. 判断が難しかったであろう。ア: 1985年に男女雇用機会均等法が公布され, 1990年代になって共働き世帯数が専業主婦世帯数を上回った。イ: 低金利政策が続けられた。エ: 導入時の税率は3%。2. 皇室典範は黒田清隆内閣。4. やや難。イ: 技術が世界水準に追いついたのは日露戦争後のことである。5. エ: 「幕府や藩に保管された」が正しいのかどうかで判断に迷ったかもしれない。6. 難。ウ: 後白河法皇『梁塵秘抄』。8. ラジオ放送は1925年に始まったが, 大正天皇即位の礼が行われたのは1915年(即位は1912年)。	標準

設問別講評			
〔Ⅲ〕	A 『奥州後三年記』より前九年合戦 B 『玉葉』より中世の経済 C 「日本永代蔵」より雑題	2. 「昔、頼義、貞任を攻めし時……」から、描かれている合戦が前九年合戦であることに気付けるかどうか。4. 史料文の読み取りが求められた。ウ: 下線部直前の文の「朝」は「王朝 (日本)」の意。5. イ: 後三条天皇は大江山を登用した。6. 治承三年は 1179 年である。ア: 保元の乱, イ: 平治の乱, ウ: 六条天皇ではなく安徳天皇が即位した。9. 現金掛け値なしを想起し, 三井を導けるかどうか。	標準
〔Ⅳ〕	近現代の日米関係	現代史が多数出題され, 細かい知識が要求される問題もあり, 苦戦したかもしれない。3. ア: 中国人民義勇軍ではなくソ連軍。イ: 膠着状態となったのは北緯 38 度線付近。鴨緑江はより北方で, 現在の北朝鮮と中国の国境。エ: 釜山ではなく仁川上陸作戦を決行した。4. ア: 奄美大島は 1953 年, 小笠原諸島は 1968 年に返還された。イ: 中華人民共和国は招かれなかった。ウ: 日本社会党はこの時右派と左派に分裂した。5. ア: 石炭から石油へのエネルギー転換がおこった。イ: 日本列島改造論は田中角栄内閣。エ: 日本ではなくアメリカの貿易赤字が増大した。また, 貿易摩擦が深刻化したのは 1980 年代である。8. 細かな知識が要求された。ア: オランダではなくフランス。イ: ベトナム戦争の長期化で, アメリカの財政負担は増えていた。ウ: 北ベトナム民族解放戦線ではなく南ベトナム解放民族戦線。	やや難

合格のための学習法

原始から近現代まで, 例年通り幅広い時代から出題され, 近現代史の占める割合も昨年と同程度であった。このため, 対策が手薄になりがちな近現代史も, 前近代史と同様に徹底して学習することが肝心である。問題文や選択肢の文には, 教科書や用語集の説明を参考にしたと思われるものが散見されるため, 学習の際には教科書の脚注を含め細部にまで目を通し, さらに, 用語集などを活用して知識を深めて高得点を目指したい。また, 直近の過去問で出題されたテーマについて, 問い方を変えて出題されることも多いため, 過去問演習はもちろんのこと, その内容について復習を丁寧に行うことも必要である。正誤の判断に時間を取られるため, 時間配分も重要になる。その点でも過去問演習は欠かせない。